

税 労 第 62-090 号
令和 4 年 6 月 27 日

各地区本部執行委員長 殿
中 央 執 行 役 員

日本税関労働組合
中央執行委員長 倉 本 和 邦

第 62 期第 6 回中央執行委員会議事録について（送付）

このことについて、議事録を作成したので、別紙 1 のとおり送付します。

第 62 期第 6 回中央執行委員会議事録

1 開催日時 令和 4 年 5 月 24 日 (火) 午後 1 時から午後 5 時

2 開催場所 会議するなら及び各地区本部 (ハイブリッド開催)

3 出席者

[中央執行委員長]

倉本和邦

[副中央執行委員長]

堀田将恵、齋藤雅記、原川佳也

[中央書記局]

鈴木宏彰 (書記長)、村岡和弥 (書記次長)

[中央執行委員]

武田靖、三浦慎也、太田美菜 (WEB)、佐藤裕一 (WEB)、長谷川兼史郎 (WEB)、浦中篤 (WEB)、福本一也、吳屋堯歩、新里薰 (WEB)

4 議題

(1) 第 2 回関税局長交渉について

(2) 第 63 回定期大会等について

(3) 各地区本部情勢報告

(4) その他

5 議事内容

○中央執行委員長挨拶

・今年度の人事院給与実態調査について、令和 4 年度職種別民間給与実態調査が本年も実施されており、調査期間、調査対象事業者数、調査の方法については、昨年からほぼ変更はない。ただ、調査期間が昨年より 2 日短くなった。上部団体等で情報を入手したら各地区本部に共有していく。

・退職金について、先月 21 日に人事院から民間の退職金及び企業年金の実態調査の結果並びに国家公務員の退職給付に係る本院の見解について報道発表され、官民比較の結果、公務が 1.5 千円 (0.06%) 上回る結果となった。これを受け水準の改定の必要なしと公務労協の交渉においても回答を引き出している。この官民比較の退職給付水準の在り方については、色々議論がなされており、色々と問題点があると公務労協としても考えているので、新たな考えが示されれば各地区本部に共有していく。

・定年の引上げについて、いよいよ 2023 年度から段階的に定年の引上げが実施される。色々と問題点があり、役職定年後のポストについて働き甲斐がある官職が新たに必要で

はないか、級別定数の管理についてきちんとなされるのか、再任用との給与格差について是正されるのか、生活関連手当についてしっかりと支給されるのか等々についてしっかりと注視していき、上部団体や当局に対してしっかりと要求していく必要がある。各地区本部においても、なにか情報を入手した場合は、中央まで共有をお願いする。

- ・夏の参議院選挙について、現在の予定では、6月22日公示、7月10日選挙の予定である。事務所開きが順次行われている。同行をお願いすることもあるかもしれないが、地区本部に負担がかからないようにしていきたいと思うので引き続き協力をお願いする。

(1) 第2回関税局長交渉について

ア 交渉打合せ

- ・事前に交渉の流れ、各自が担当する発言事項について共有を行った。

イ 総括

- ・当局側の回答はこれまでどおりであり、目新しいものはなかった。
- ・直接局長と話すと人柄が分かり、大変勉強になった。
- ・交渉最後の倉本委員長総括で以下の2点のオフレコ発言を行った。オフレコ発言なので当日の回答はなかったが、考查管理室から後日回答する旨発言があったので、回答があれば各地区本部に情報提供していく。

(1点目)

秋に施行予定の商標権侵害物品の取締強化の部分について、現場で事務が増えるのではないか、輸入者と揉めて大変なのではないか、今の体制ではしっかりと取締りができないのではないか等の声があるので、事務処理要領やQ&A等を作成して届ければ現場も安心するので心掛けてほしい。

(2点目)

定年延長が来年の4月から始まるが、まだインターネット等で見られる情報が少ない。例えば、3級4級で定年延長になった場合、現職の3級4級の人が上の級に中々上がることができないなくなることが起きてしまうと、若手の職員のモチベーション低下にも繋がり、将来のビジョンも描けなくなってしまう。そういったことがないように、前広に情報提供をしてほしい。

ウ 総括の報告を受けて以下の質問があった

(質問) 定年延長について、「しばらくの間、給料を7割に」とあるが、「しばらくの間」とはいつまでか?上部団体含めどこかで話が出ているか?あと、局長が各税関に視察していると思うが、交渉で話がでたところはあるか?

(中央) 定年延長の件については確認する。税関の視察の具体的な話はなかった。

(質問) 先ほどの7割について、ずっと継続すべきと考えているので、上部団体の交渉等で当局側に「ずっと7割」という言質を取った方がよいのでは?そうしないといつでも変えられる。

(中央) 機会があれば聞いてみたいと思う。

(質問) 夏季休暇拡大について、前回の回答では「関係機関に必要な要望を行っていく」とあったが今回も同じか?

(中央) 同じであった。

(2) 第 63 回定期大会について

鈴木書記長から、現状について以下のとおり説明があった。

- 会場については、3年前同様（2泊3日）のスケジュールで、東京グランドホテルを9月17、18日で仮押さえ中であり、会場キャンセル料については、2か月前（7月17日）までならかからない。

検討結果は以下のとおり。

- 第 63 回定期大会については、集合形式で準備を進めていくこととした。キャンセル料が発生する前にスケジュールを決めていく。
- コロナの情勢も踏まえ、コンパクトに1日での開催で進めるが、議論する内容が多く1日で終わらないような場合は、従来通り2日での開催も検討する。いずれにせよ、前広に各地区本部に相談や情報共有していくこととした。
- 中央役員の改選案について、鈴木書記長から説明があり、次の拡大中執で決定することとした。

(3) 各地区本部情勢報告

ア 函館

- 税関長交渉予定日 5月31日（火）
人 数 調整中（会議室の関係で四役のみとなる可能性あり）

イ 東京

- 税関長交渉予定日 6月10日（金）
人 数 7名（未確定）
- 4月15日（金）に鈴木書記長を招いて地区委員会を実施

[他地区本部からの質問]

東京で大卒が多く加入したと聞いたが今の状況を教えて欲しい。

[回答]

研修中に接触しており、50名中43名加入（2名欠席）。例年は、研修中の説明会はしていなかったが、東京地区本部の次期書記長が調整を行い、うまい具合に功を奏した。当局にも説明会をすることは伝えている。また、教育官の協力を得て研修所の教務課にも了解を得ている。具体的な加入懇意の方法については、書記長会議で報告させていただく。

ウ 横浜

- ・税関長交渉予定日 6月9日（木）
人 数 6名
- ・新職加入懇親会 委員長から挨拶し、中央作成のFENCEを渡したのみ。研修期間中の加入懇親は行わない。

エ 名古屋

- ・税関長交渉予定日 6月8日（水）
人 数 5名（執行部全員参加）

オ 大阪（欠席）

カ 神戸

- ・税関長交渉予定日 6月9日（木）
人 数 8名
- ・新職加入懇親会 4月19日に基礎科、5月11日に普通科に対し加入懇親を実施。簡単に組合の説明したのみ。研修が終了してから個別に対応。加入届とJCU手帳は、配布済み。
- ・新規採用の係長級3名と船舶職員1名は全員加入した。
- ・6月18日に青年部主催のUSJレクを行う予定。

キ 門司

- ・税関長交渉予定日 6月9日（木）
人 数 執行部全員参加

ク 長崎

- ・税関長交渉予定日 6月9日（木）
人 数 執行部全員参加（これまでもコロナを理由に減らしていない）
- ・新職加入懇親会 研修が終了してから行う予定。
- ・青年レクでボーリングを企画している。

[他地区本部からの質問]

長崎は昨年、当局の了解を得て研修中に行ったと聞いたが、今回はそうしなかった理由はあるのか。

[回答]

理由はない。

ケ 沖縄

- ・税関長交渉予定日 6月13日の週で調整中

人 数 4名（コロナの影響で出席者を絞っている）

・新職加入懇親 採用研修終了後、支所での研修中に加入懇親実施予定。

コ 中央

・税関長交渉実施後は、中央まで議事録を共有するように鈴木書記長から依頼があった。

サ 東京地区本部が開催した地区委員会について

東京地区本部の情勢報告での地区委員会開催について、以下の質疑があったので発言のまま記録する。

[原 川]地区委員会って集合でやったの？WEBでやったの？

[堀 田]地区委員会は、集合で実施しております。

[原 川]集合でやったの？あれだけ中央委員会反対したのに？

[堀 田]そうですね。確かに。はい。

[原 川]分会長が中央委員会を集合形式でやるのを反対していたのにもかかわらず、集合でやりましょう？相反してない？

[堀 田]そういう風に思われてしまうのも確かに否めないところもあるんですけど、東京の管内でっていうことで、全国との交流がない状況ですので東京は開催したというところでございます。

[齋 藤]4月19日だよね？

[堀 田]そうですね。

[原 川]前回の中執のときに、（地区委員会は）やると決まっていたの？

[堀 田]もともと、地区委員会を開催するというのは、スケジュール的に決まっている話で。前回の中執の段階では、やりますというのは、執行部の中で正式的な合意まではしていないんですけど、ほぼほぼ集合でやる方向で。はい。

[原 川]WEBという選択肢はなかったの？

[堀 田]東京は、コロナ感染対策に気を付けながら、WEBではなく、集合でという。

[原 川]分かりました。やっちゃんつたものはしようがない。

[堀 田]確かに中央委員会の（開催是非を話し合う）場で、あれだけ反対をしておきながら、矛盾していることについてはですね、この場でどのように釈明していくのかわからないんですけど。

[原 川]東京の話だから。しかも、もう終わっている話だし。ちょっとだけびっくりしたので。

[堀 田]それは、確かにそうだろうなっていうのは私もずっと思っておりました。歯切れの悪い感じの回答になってしまって大変申し訳ございません。

[佐 藤]村岡くんさあ。堀田くんがなに喋っているか全然聞こえねえんだけど。マイクが遠くて。ちょっとそこ重要なところだからはっきりしゃべってほしんだけどさ。

[村 岡]失礼しました。

[堀 田]はい。今、原川さんの方から東京が地区委員会を開催した件について、あれだ

け中央委員会の開催を反対していたにもかかわらず、なんで集合開催できるのか。中央委員会の開催を反対した時点で、もうすでに東京が地区委員会を開催することは決まっていたのか。の質問を受けて、わたくしの方からは、東京は、集合の方式にして、対面で地区委員会を開催するというのはほぼ既定路線で決まっていた中で、中央委員会の開催については反対をして、論理矛盾しているということについては、大変申し訳なく思っております。というのを申し上げたところでございます。

[佐 藤]原川さんどうぞ。追及するんだったら追及して。それ一番最後に聞こうと思ってたのが今出たから。

[原 川]あー、ごめんなさい。ちょっと納得はできないんで。

[佐 藤]それってやったもん勝ちなの？皆、WEBでもいいからやりたいって言ってたのに。あれだけ反対したのに、中央委員会やろうとした前日に集合で地区委員会やるわけ？

[堀 田]佐藤さんのおっしゃるとおりです。

[佐 藤]東京の委員長さんどうなのかね。それ。

[堀 田]その件について、佐藤さんのおっしゃるとおりです。

[佐 藤]中央委員会は、議題がないからやる必要はねえけどそっちはやるんだ。

[堀 田]東京が取った行動からすると、そのような感じになってしまった。

[佐 藤]ふーん。面白いね。やることが。

[堀 田]一旦休憩させてもらっていいですか。

[鈴 木]じゃあ10分ほど休憩を入れさせていただきます。

～休憩～

[鈴 木]みなさんよろしいでしょうか。それでは再開したいと思います。

[堀 田]休憩すみませんでした。この度、東京が地区委員会をやっておきながら、中央委員会の開催を猛反対して、大変なご迷惑を。ご迷惑というかですね、東京の資質、私の責任と思います。大変申し訳ございませんでした。謝って済む問題ではないと思いますけど、この場で謝らせていただきます。大変申し訳ございません。

[齋 藤]あと、この地区委員会に中央の書記長も出られたと聞きましたがそのとおりなんですか？

[鈴 木]はい。出席はしました。

[齋 藤]中央委員会やらないと言っていたのに集合に出席したのはなぜですか？

[鈴 木]私の整理としては、中央委員会は皆さん開催を望まれていましたけど、東京側がおっしゃっていたような議題、要は話す内容がないという整理の中で、東京の中では、次期体制含めた話をするということなので参加させていただければと、私は参加しました。

[齋 藤]集合でやった意味はなんですか？

[鈴 木]集合でやった意味？

[佐 藤]ちょっと待ってちょっと待って。鈴木さん自分から参加するって言ったの？

- [鈴 木]いやいや、要請を受けたの。
- [佐 藤]今、要請受けたって言ってなかったよ。
- [鈴 木]ごめんなさい。
- [佐 藤]今の言いっぷりだと、鈴木さん次の東京の執行体制決めるから自分で参加するって言ってたよ。それだとだいぶ話が変わってくるよ。分かりますよね？これまでの流れ。堀田くんが頭下げた理由とか。
- [鈴 木]もちろん。
- [佐 藤]どういうこと？いったいどうなってるの？
- [鈴 木]いや、要請を受けたところがあったので、そこで参加させていただいて。
- [佐 藤]本当に要請受けたの？要請って文書？
- [鈴 木]はい。
- [佐 藤]電話？
- [鈴 木]いえ。
- [佐 藤]中央執行委員長の倉本くんさあ。了解は取っているんだよね？
- [倉 本]私は了解しておりません。書記長の判断です。
- [佐 藤]そこの3人なにやってんの？
- [倉 本]私は行くなと言いました。自己判断で行けと言いました。（鈴木書記長に対して）はい、ちゃんと説明して。
- [鈴 木]おっしゃるとおり、堀田委員長から要請は受けて、委員長からは自己判断という話がありました。
- [倉 本]自己判断とは言いましたが、私は行くなといいましたよね？
- [鈴 木]お任せしますと言いましたよ。最終的にはお任せしますけどって。
- [倉 本]そのうえであなたが判断するんですよねって話。だからあなたの判断。私は行くなと言った。はい。以上。
- [堀 田]元々の地区委員会は、中央から委員長をお招きして、中央情勢を5分か10分程度レクチャーしてもらうということで、これは毎回の流れです。当初、倉本委員長にお願いしていたんですけど、今回はちょっと行けないよということで、そこで鈴木書記長が来るということで。うちの方からお願いしているのは、中央の情勢をお話するということで、来期とかの話ではないです。来期の話は、あくまで私たち執行部の話で、そもそも来期の話自体は、この地区委員会ではやらないことですので。一応そこだけは、誤解がないように私から。
- [佐 藤]3人で話がかみ合っていないけれど。そこの画面の3人でかみ合ってないけどどういうこと？なにやってるの？中央とひと税関さんで。もう一回休憩入る？3人で打ち合わせする？何のための休憩だったの？3人で打ち合わせするための休憩だったんじゃないの？
- [堀 田]私の頭を冷やすための休憩で先ほど時間をいただきました。
- [佐 藤]じゃあ今回どうすんの？
- [堀 田]もし3人で打ち合わせするんだったらちょっと休憩というか3人で。
- [倉 本]いや、別に打ち合わせする必要はないです。

[佐 藤] あのー。各地区本部、執行委員に報告できるようにちゃんとやってもらえる？ってことは、堀田君さ、東京の委員長として倉本中央執行委員長に依頼をかけたけど断られたんで、あれだよね？普通、倉本委員長にじやあ鈴木書記長お願ひしますって言うんじやねえの？そこ鈴木書記長に直接堀田委員長が連絡するの？倉本委員長に言うんじやないの？

[堀 田] 中央の委員長が来れないってことになると、次の書記長の鈴木さんはっていう流れになりました。

[佐 藤] それは倉本委員長にいう話じやないの？鈴木書記長をじやあ出してくださいって。鈴木書記長に言うの？

[堀 田] すみません。その時は、倉本委員長が不在だったので、鈴木書記長と電話でのやり取りでそのような話になりました。じやあ自分が行こうかということで。

[佐 藤] 組織としてどうなんだろうね。おーい。村岡くん。これ議事録全部残せよ。俺の口調そのままに。肉を付けるのは構わねえけど、削除するのは許さないからな。

[村 岡] はい。

[佐 藤] はい。じやあどーぞ。これでみんなどういう状況かわかったと思うんで進めたらいかがですか？どーぞ。

[齋 藤] 中央委員会のところを集合でやらないと言ったにもかかわらず、地区委員会を集合でやったというところもあって、まさにそこに中央の書記長が行ったと。そういうところがあったという話を聞いたので、どうだったかというのを確認した次第です。今後、実際のところ、中央委員会は意味がないって言った時点もおかしいんだけど、一番反対した地区本部がやったっていうのが一番の問題だと思っているし。発端としては、まだ中央執行委員会で決まっていないことを地区委員会で話して決定したことが一番の問題だと私は思っている。そこの手順は考えるべきだと思いますよ。分かりますよね？言っていること。これ以上言っても話にならないので、今後、行動で示していただければと思います。

[佐 藤] 原川さんどーぞ。もともとこれ言い始めたの原川さんだから。

[原 川] 開いた口が塞がらない状態で。思考停止状態ですけど。そもそも、中央委員会を蹴ってまで地区委員会をやらざる終えなかつた理由はなんだつたんですか？集まってまで決めなきやいけないことがあった？あんまり、堀田さんを責めたくはないんだけど、結局開催ありきで動いていたわけでしょ？そこは逆に一言欲しかったよね。前回の3月25日の中央委員会やるかやらないか決める時に「反対です。でも東京は、地区委員会やりますよ」って言えばよかつた話で。そしたらそこで色々反対意見も出たと思うのに。そこを隠して、自分たちの都合のいいように話を持っていっているんで。そこが他の中央執行委員もムっときているところなので。ちょっと最近、東京さん独りよがりだよね。そこはちょっと反省してもらいたいのと。せっかく集まって話しているんだから。開催についても、相談すべきだったんじやないかと。委員長から反対出たんだよね？地区委員会をやるやらないっていうのは委員長からは？

[倉 本]地区本部のことなので、私はなにも言ってません。

[原 川]誰か止めてくれる人が東京地区本部にいてくれればよかったと思うけど、これはちょっとよろしくないかなと思いますね。そこは東京に反省してもらって。東京は中央委員会も地区委員会も集合でやるんだってなればここまで反対は受けないよ。でも、自分たちが集まってやるのはリスクが大きいと言って中央委員会を蹴ったのに、集合してやったっていうのが一番みんな「は?」と思っているところだと思うんで。今後、気を付けてください。

[堀 田]すみません。申し訳ございません。

[原 川]書記長も呼ばれたからって、ホイホイ行っちゃだめ。考えて。あれだけ議論して、最終的に東京が反対するんだったら中央委員会をやらないって決めたのに、それを集合でやります来てくださいって言われて、委員長は行かない、書記長にも行くなって言われているにもかかわらず、行きますっていうのはおかしい。あくまでも呼ばれたのは委員長であって、その代理で行ってくれって言われれば行くし、行くなって言われて行くのはおかしい。考えて欲しいし、呼ぶ方も呼ぶ方だと私は思います。

[齋 藤]太田執行委員。このやり取りを聞いていて東京のやり方としてどう思いますか?太田さんも出てる?

[堀 田]太田さんは出でていないです。

[太 田]地区委員会をやっていたというのを今聞いたんですけど。

[齋 藤]あ、知らなかつた?

[堀 田]執行部ではないので。中執の委員だけなので。

[太 田]東京のやり方としてはやはり、蹴ってるわけだから地区委員会をするにあたっては、理由はともかく事前にお話はするべきだらうなと思いますね。中執の場であれだけ強く蹴っているわけですから、事前に各地本の皆さんにも。実際に強行するかどうか、やるかやらないかは当然東京の地本が決めればいいと思いますけど、ネゴは必要だったと私は思います。

[齋 藤]開催については、考えるべきだったと思うけど、やっぱりそう思うよね。今後、東京の在り方についても、太田執行委員には中央の考えも持ってもらって、周りにもそういったところ注意をするなり、ご協力いただければなと。今後もまた続きますから。そういう広い目で見てもらえればと思います。

[長谷川]長谷川です。組合員のための活動っていうのを僕はずっと意識してやってるんで。僕が専従やってたときからずっと中央委員会自体を前の奥平さんとかやる意味がないやる意味がないってめっちゃ言うんで、中央委員会は議題があるなしではなくて、組合員が発言するための場を提供するためにあって、それを取り上げるっていうのを軽く考えるのをやめましょうねって言って、当時、「そうだ、そうだ、言うわ、俺」って言ってたんですけど、どうも東京の中で中央委員会がやる意味がないっていう決めつけが根付いているのかなと感じています。議題があるなしではなくて、組合員のことを考えて活動をする必要があると思うし、その視点に立てば、東京が地区委員会をやったことは組合員のた

めにきっとなるでしょうから、全然良いんじゃないかと僕は思いますけど。ただまあ、とりあえず中央委員会の在り方っていうのを東京の中で言っている姿勢というのは皆さんにも思ってないかどうか一応一回。堀田委員長どうなんですかね？大会って組合員が発言する場だと僕は思っているんですよ。中央が単に言うだけじゃなくて。そういう場を提供するっていうことでは東京では理解が得られないんですかね？質問です。

[堀 田]東京は組合員が多いので、私がコメントするところもどこの層についてコメントするかっていうのでターゲットが変わってくると思うんですけど。組合員にも労組の活動でオルグだったり、旗開きだったりやってる意味が分からなくて、お弁当食べるだけって思っている方もいますし、定期大会の意味とか、中央の総決起集会の意味とかちゃんと分かっている人もいますので、どこに合わせるのかといったら、中央委員会をやったときに「こういう委員会ですよ」という趣旨説明していくのが一番活動としていいと思っています。回答の内容ピントズレています？

[長谷川]いいんですけどね。中央委員会でも加入懇親の在り方とか、東京からも結構きつい質問とか出してくれたりして、他の地本もっと頑張れみたいなことを言ってくれたりして、そういう議論も結構今までやっていたと僕は認識していて。東京はちゃんと活動している地本なんで、そういう部分で全国の見本となって、こういう風にやれと、中央どうなってんの？みたいな形でもっと活発にやる場っていうのは、奪わない方が僕はいいとずっと思っているんですけど。また、東京の中で中央委員会、中央委員会以外でもいいんですけど、直接質問をする場になるので、何でもかんでもやめていって、何でもかんでも意味がない意味がないって言ってしまうと閉鎖的な組織になっていきますので。そんな人は、僕はよくないと思いますんで。そういう面で東京の中でも理解が得られるように説明をしていただければありがたいなと思っております。

[倉 本]やる意味がないと言っていた書記長いかがですか？言っときますかなにか？

[鈴 木]いえ？委員長がおっしゃったとおり僕はあの時は、議論をする必要がないのであれば別に開催する必要はないなと思いましたし、何よりも東京が前段中執の前に各分会長に是非をとったときに、やるべきでないという回答があったというのが一つの事実で、私としてはそれで十分かなと。

[佐 藤]いやいや、鈴木書記長またそれを言っちゃうとさ。東京の地区委員会出席者は、中央委員会やる必要ねえって言ったのに、地区委員会はやる必要があるって判断ってどういうことってなっちゃうから。そういうこと言っちゃダメだよ。鈴木さんが。あなた東京の人だって前回の中執であれだけ言ってたじゃん。私は東京の人間なんで東京に従いますって言ったでしょ？私はそれも間違っていると思いますけどね。あなたは、中央の人間なんだから。

[倉 本]私には従わないんですみません。

[佐 藤]今の鈴木さんの言い方だと、東京の地区本部の人間が悪いんですって今中執の場で中央の書記長が話しちゃったことになっちゃうよ？鈴木さん。まずいでし

よ？それじゃあ鈴木さんの立場がさ。ねえ、堀田東京地区委員長どうなのよ。

[堀 田] 今の鈴木さんの回答しちゃうと、長谷川さんからおっしゃられてた組合のスタンスというのが、みんなが要らないよっていうのが認めてしまうことになるの でちょっとそれは。ただ、うーん。

[佐藤] はい、わかりました。以上です。

[倉 本] (鈴木書記長に対して) なにかありますか?

[鈴木] いえ、申し訳なかったと思っています。

[倉 本]思っているんですか？

[鈴木]混乱をさせてしまいました。ご迷惑をおかけしてしまいました。すみません。

[倉 本]ちゃんと聞こえないですよ。マイクで拾えませんよ。

[鈴木]申し訳ありませんでした。ごめんなさい。

(4) その他

ア 退職手当の見直しについて

- ・鈴木書記長から公務労協情報を基に共有を行った。

イ 連合のウクライナの救援カンパについて

- ・国公連合を介して協力要請がきている。各地区本部で可能な限り構わないので集まつた場合は、期日までに協力のお願いが鈴木書記長からあった。また、以下の質問があつた。

(質問①) 以前の政労連のカンパの時は中央で纏めたが、今回地本にまいている理由はあるのか。

(中 央) 今回は、愛のカンパと同じ整理をしている。今のロシアのウクライナ侵攻について、皆さん状況は知っていると思う。そのうえで今回カンパがきている。執行役員限りでカンパをしてもいいし、自分でやっているから協力できないでもいい。地区本部の温度感に任せる。

(質問②) カンパなしでもいいということか。

(中 央) 問題ない。

ウ 第2回考查管理室長会見（青年）について

現状について、村岡中央書記次長、呉屋青年委員長から以下のとおり報告した。

【日 時】 6月 10 日 (金) 10:30~11:30

【出席者】 6名（沖縄、函館、横浜、門司、長崎、書記次長）

エ 次回の拡大中執について

- ・7月8日又は9日でのハイブリット開催を検討している。
 - ・議題は定期大会について。
 - ・後日、鈴木書記長から日程伺いをすることとした。

オ 次期中央執行委員長について

- ・倉本委員長から次期中央執行委員長について、大阪の永山さんが受けてくれるとの回答があったとの報告があり、異議なしで了承された。

カ 加入懇親資料について

- ・国税がセミプロに依頼して加入懇親の漫画を作成している。国税で 50 万程度。税関の人数でいうと 20 万くらいなるもよう。今後情報収集して、中執に諮りたい旨の発言が中央よりあった。

キ テレワークについて

以下のとおり発言があり、情報共有を行った。

[長谷川]アクセス数だけ増やして、個人の端末を使うことを前提に進んでいるが、セキュリティ的に許していけないのではと思っている。各地区本部ではどのような温度感なのか。

[原 川]やりたくない人はやっていない。やりたい人がやっているので、不満の声は上がってきていない。ただ、ポケット Wi-Fi (Softbank) を貸してもらえるが、場所によっては繋がらず 1 日を潰したという話を聞いている。あと、幹部が一時期やれやれと言っていたが今は沈静化している。

[長谷川]テレワークについて、これまで希望する職員が行っていたが、4月 25 日から管理職員からの業務命令になっている。既に大きく変わっている。業務命令なのでやれと言われたらやらないといけない。他にも、テレワークの通勤手当の取扱いについて、徐々に表面化してきて思ってもいないことが出てくる可能性がある。6月 13 日から本格的に始まるので、台数がないのに強制的に始まるというのを組合としても組合員が不利益にならないように注視していく必要がある。

[佐 藤]先月、トークンが 1 人 1 個配備された。シンクラ端末も各庁舎に 1 台は配備されている。7、8、9 月の 3 期に分けて、自宅でシンクラ端末を使用して、認められている CIS の業務をやって、その結果で私物端末でも展開するかどうかを決めるかどうかの事務連絡が出ている。横浜では、監視取締りであっても在宅勤務ができるか検討しろとの話が出ていた。また、先ほど話がでた通勤手当について、局の 6 課長事務連絡受けての横浜の事務連絡では、業務命令によるサテライトオフィス勤務だと出張扱いで旅費が出るが、自分から管理者に申し出をしてのサテライトオフィス勤務だと出張旅費が出ない。そこが今回大きく変わっている。それについて、組合員から不満が出るかもかもしれない。それについてアンケートを取るかどうかは中央専従者で判断してほしい。

[原 川]長谷川中執が言ったように、業務命令でやる場合っていうのを危惧していて、総 2 を通じてテレワークというのは、働く形態のツールの一つでしかないので、強制はやめるようにと予備交渉で伝えたが、総 2 もそれはそうだねと言っていたが、状況変わったのか？

[佐 藤]多分、その場合だと自分の希望でサテライトオフィスに行くので出張旅費は出ないと思う。ただ、事務連絡を読む限りで運用がどうかは確認していない。

[原 川]税関長交渉で聞いてみたいと思う。

[武 田]函館では、テレワークが進んでないので、個人端末を使うことについて意見は上がっていない。4月末から CIS、NACCS の試行期間で少しづつ始まっている。調査部にいるが、個人用のトークンを調査部 32 名いるが、30 個でほぼ 1 人 1 個の形で配られた。現状誰一人使っていない。今後、テレワークを少しづつやっていきなさいと幹部や管理課長から言われているので、少しづつ使って言うことになると思う。今後、CIS、NACCS を使うことについての不安等の声があれば共有する。通勤手当については、テレワークの上限を月 15 日としており、通勤手当が出ない、減額されることはないのではと思っている。

[原 川]テレワーク手当の要求も出てくると思う。その場合、通勤手当は減額になると思う。

[鈴 木]人事院の民調では、テレワークの諸手当の調査も行っている。研究会自体は来年まで実施なので、一定の方向性の指針は8月の人勧の時に説明があるかもしれない。情報を入手すれば前広に共有する。

[長谷川]事務連絡では、申し出による常例テレワークについては、通勤手当は再計算され減額されると規定されている。そもそもが、端末を用意できていない、見込みの甘さを職員個人の端末で解決しようとしているのが、次元が違う話ではないかと考えている。諸手当を要求する前に、勤務命令でやるのであれば、当局が端末を用意するのが最低限ではないかということを言つていかなければならぬのではないかと思う。

ク PSI 共同議長について

以下のとおり会議冒頭の委員長挨拶前と会議終了前に発言があったので、発言のまま記録する。

(会議冒頭の委員長挨拶前)

[倉 本]委員長の挨拶に入る前に、今日の出席の件でちょっとよろしいですか？東京の太田なんんですけど、中央執行委員会に今日参加していただいているんですけど、私から書記長に指示したことは、太田執行委員には PSI-JC の中のユースネットワークの中の共同議長していることから、通常の参加の依頼とは違って、違う立場にありますので、中央執行委員会の方に参加するのではなく、本日行われている PSI-JC の会議の方へ参加を優先させるように私の方から指示したと思いますが、どういうことなんでしょうか？書記長、皆さんに説明してください。

[鈴 木]いや、単純に、今日彼女は終日離れられないんで、午後だけならっていうことで、且つ、職場からあまり移動時間がないこちらを優先したいという意向でした。

[倉 本]わかりました。

[齋 藤] 実際、それは想定されていたことじゃないんですか？出席しなくてもいいものなんですか？

[鈴 木] いや、そういうわけではないです。

[齋 藤] 終日離れられない。それで午後だけってことだったらOKだと思います。

[原 川] PSI の会議は何時からなの？

[倉 本] 昼からですよ。朝にフィールドワークして、昼から会議。14時30分から16時30分まで会議。

[原 川] そこだけ出れないの？

[鈴 木] 移動時間も考慮して彼女はこちらに。中執があるんならこっちに。

[倉 本] 中執があればではなくて、共同議長の方がまず優先されるんじゃないですか？

[鈴 木] いや、それは彼女が自組織の中執…

[原 川] いやいやいやいや、議長でしょ？ 委員だったらまだいいけど議長。だから俺言ったじゃんね去年。彼女がやる時に、できるかどうか怪しいんじゃない？って。税関労組が議長を引き受けるのはやめた方がいいんじゃない？って確かに言わしてもらったけど、実際こうなったじゃん。

[鈴 木] まあ、現実今日は別にそこについては何も。

[原 川] PSI-JC の方々は納得してくれたの？

[鈴 木] そもそもそれを国公連合に受ける時だって、非専なんができる限りっていうところでしか受けられませんよっていう話にはなっていたので。そこは納得してもらって受けている。国公連合にもそういう返事をしている。

[原 川] でも2時からなら行けるよね？

[鈴 木] そこの判断は、こちらはどうですって言うだけで。

[原 川] 聞いた？ 午前中は仕事で忙しくて出れないんで、昼だけでもいいですかって。

[鈴 木] いや、そういう聞き方はしていない。

[原 川] 議長って会議を回すんじゃないの？ いなくて大丈夫なの？

[鈴 木] 議長いなくても全然問題ない。もう一人いるから。自治労さんが（正しくは全消協）。二人いるうちの一人だから。そちらに任せれば全然問題ない。

[原 川] ジャアそもそも太田中執が議長する必要ないじゃん。二人いなきやいけないの？

[鈴 木] 二人。国公からも出している。

[倉 本] わかりました。そういう形で考えられているってことですね。

(会議終了前)

[佐 藤] 一番冒頭で話のあった PSI-JC の件なんですけど、個人的にはやはり出た方がいいじゃないのかなって思うんですよね。基本的に国公連合の議長として太田さんが今回入っていて、そしてもう一人議長がいる。議長が二人いるので問題ないってさっき鈴木書記長が言ってたけど、それ危険な発言ですよね。じゃあ規約改正して、もともと議長一人でいいんじゃない？って話になる中、議長二人なんですよね？ 税関労組から国公連合に議長一人にしろよって言うの？

[鈴木]いや、そういうつもりはないです。

[佐藤]いや、鈴木さん、そういうつもりがないけど、そういう風に言っちゃってるんですよ。一言一句議事録に起こしたら鈴木さん大変なことになるよ。俺の取り方じゃなくて、そういう言い方しちゃってるから。冒頭から。それ国公連合の莊司さんが聞いたらブチ切れるぜ。舐めてんのかってなるよ、絶対に。太田さん忙しいのは十分わかるけれど、税関労組の看板背負って、国公連合の看板背負って議長として出ているんだから、ちょっと考えるなり。やっぱり、うちの長、倉本くんだから、倉本くん申し訳ないけどちゃんと国公連合に詫びを入れた方がいいんじゃないのかな。申し訳ないけれど。

[倉本]そうですね、はい。

[佐藤]そうしないと、数年前に関係悪化していた時期があると聞いたことあるけど、また、その二の舞いになつていいの？せっかく歴代の委員長が立て直してきたところで、また同じことするの？今後、コロナ明けてきて、国公連合の定期大会とかに東京と横浜で動員かかるんでしょ？その時に、俺ら出たらまた後ろ指指されるの？皆から。確か俺が4年前に国公連合のやつに行き始めたときに、「あー、税関労組か」みたいな感じだったけど。莊司さんとかも。せっかく、山内さん、谷川さんとかが上手くやってくれていて、今も村岡くんもPSI事務局かなんか入っているんだよね？

[村岡]はい、入っています。

[佐藤]せっかくうまくやっているところで、中々危険なことをするよね。長谷川中執の言葉を借りれば、執行役員だけでなく一般組合員だって国公連合や国公連合関東、国公連合東北の場に定期大会だと出るわけだよね？そうしたら莊司さんとかが来賓で来るわけですよ。そういうところで、後ろ指指されるところを一般組合員に見せていいんですか？中央専従の皆さん。と、元横浜の委員長である私は個人的に考えます。

[太田]佐藤さんのお話もごもっともだと思います。ただ、PSIの方は共同議長となっているんですけど、事前の打ち合わせがないんですね。恐らく、もう一人の共同議長にしか話がいっていない。ほとんど運営の方だけで、8割9割回っているようなもので、会議自体はセレモニーなんですね。言われたとおりするだけ。そんな会議が何か月に一回あって、こういう風に中執と被ったりすると、どうしても優先順位をつけたいわけですね。こうやって税関の中執なので、私は中執の方が大事だと思っていますし。今日は、局長交渉の後の中執なので、一番大事だと思っています。なので今回は、こちらを優先させていただいているということです。なので、毎回出ないわけではなく、もちろん出られるとき、本来業務も加味して都合が付くときは出たいと思います。

[佐藤]方向性はそれでいいと思うけれど、役職が付いていて、組織の看板を背負っているから、我慢して出れるのであれば出て、「ちゃんと出ていますよ」とPRしてくれると助かるかなあと。太田さん一人に負担をかけるのは申し訳ないけど、そういう風にしてもらうことによって、税関労組として皆が後ろ指指され

なくなるので。仕事が忙しいと思うので負担をかけるつもりはないけど、参加できるときはしっかり参加してもらえばと思います。

[太 田]はい。ありがとうございます。

[鈴 木]先ほどの件は、私も国公連合さんに連絡をとっておきたいと思う。

[倉 本]一緒に謝りに行きますか？

[鈴 木]私が謝りに行きます。引き受けたので。

[倉 本]そうですか。電話で謝るだけですか？

[鈴 木]いえ、今度伺った時にも。

[倉 本]今度伺った時ですか？明日にでもアポとってパッと行つたらいいんじゃないですか？

[鈴 木]はい。

[倉 本]さっさとやりましょう。よろしいですか？

[鈴 木]はい。

以上